

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

A) 工事概要

工事名称

市立長浜病院放射線治療診療室等増築工事（機械設備）

工事場所

滋賀県長浜市大茂町313番地

建物構造

一般建築物 準耐火建築物 耐火建築物

建物用途

建築基準法別表第一（第Ⅰ項） 消防法施行令別表第一（第6項（イ））

工事期間

着工年月日～完成年月日（日間）

B) 工事種目

適用No	工 事 項 目	新設	増設	改修	撤去	備考	適用No	工 事 種 目	新設	増設	改修	撤去	備考
○ 1	給 水 設 備	○	・	○	・		○ 7	空 気 調 和 設 備	○	・	○	・	
○ 2	排 水 通 気 設 備	○	・	○	・		○ 8	換 気 設 備	○	・	○	・	
○ 3	衛 生 器 具 設 備	○	・	○	・		○ 9	特 殊 医 療 方 式 設 備	○	・	○	・	
○ 4	ガ ス 設 備	・	・	・	・		10		・	・	・	・	
○ 5	給 湯 設 備	○	・	○	・		11		・	・	・	・	
○ 6	消 火 設 備	○	・	○	・		12		・	・	・	・	

○ 建物概要

No	名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	備 考
1	本 館	RC/SRC	7階	32,836.90	
2	別 館	RC	3階	8,212.46	
3	診療支援棟	S	4階	5,333.57	
4	増築棟	S	平屋	121.00	
合 計				46,503.93	

D) 一般事項

○ 適 用

一般事項の扱いは、本工事が単独の工事又は分離発注の場合は以下の全項目を適用し、他工事に含まれる一括発注の場合は※印を付けたものを適用する。

※ 共 通 仕 様 書 等

○ 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)。  
○ 同設例・環境調書 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版)。  
○ 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)。  
・ 国土交通省住宅局住宅総合整備課監修 公共住宅建設工事共通仕様書(最新版)。  
○ 日本建築家協会共通仕様書(最新版)。  
注) 最新版とは、工事契約年度時を示す。

※ 施 工 基 準

○ 本工事は、工事請負契約および同約款を遵守し現場説明書・特記仕様書・図面・施工標準図および標準仕様書により完全に施工する。必要な関係官庁への申請手続きは、すべて請負人が代行し、その費用も請負人の負担とする。  
○ 本図は、工事の概要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、その指示に従い施工する。  
○ 建築設備設計・施工上の指導指針  
○ たれも住みなくなる福祉滋賀のまちづくり条例(滋賀県)等を参考に施工を行うこと。  
○ 長寿社会対応住宅(国土交通省住宅性能第63号)  
○ その他関係諸法規に基づき完全に施工する。

※ 工 事 監 理 指 針

国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 機械設備工事監理指針(最新版)に準ずる。

○ 完 成 図

完成時に完成図を作成し、3部複製付本(監督職員指示のサイズ)の上、原因共提出する。完成原因は監督職員の承諾により原設計者の電子データで、修正の上これを使用すること。

○ 工 事 写 真

工事写真の提出に関しては、監督職員の指示による。なお写真撮影は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修[工事写真の撮り方]に準ずる。

○ 現 場 代 理 人

現場代理人は他の工事と重複して従事することとできない。また、現場代理人と請負人との直接的な雇用関係を確認できるもの現場代理人雇に添付して提出しなければならない。

※ 技 術 管 理

建築主棟工事・電気設備工事、その他関連工事についてその施工者と密な連絡をとり全工事に支障なきよう施工する。

・ 技 能 士

・ 配管施工 ・ 熱絶縁施工 ・ 冷凍・空調調和機施工 ・ 建築床板施工

※ 機 器 材 料

機器材料、製品等は別紙指定表、JIS規格等適合品製造者および、設備機材等評価名簿に記載されるもの、または同等以上のものとし、各資料を提出の上、監督職員の承諾をうけること。この必要は、品番記載の機材にも適用する。

※ 検 査 合 格 書

各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書を提出する。なお、責任施工のものは、材料製造所・施工下請業者、請負契約者連名とする。

※ 下 請 業 者 の 選 定

各種下請業者・製造所等県内で供給できるものについては、極力県内業者および市(町)内産品を選定するよう努める。

○ 建 築 工 事 と の 取 合 い

コンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強および仕上部分の軽鉄軸天井地下地、同壁地下地の開口部補強は建築工事とする。事前に施工図を作成し、監督職員・建築業者承諾の上とする。

※ 設 計 デ ー タ の 貸 与

請負人は施工図・完成図の作成を目的とする場合に限り設計時の図面データを貸与する。ただし、設計事務所了解を得ることとする。  
・ ○ 〇 m2程度とする ・ 設けない ○ 建築工事による  
請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づき、適確に処理するものとし、事前に施工計画書を提出の上、監督職員の承諾をうけること。特別管理産業廃棄物(有・無)

○ 監 督 職 員 事 務 所

請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づき、適確に処理するものとし、事前に施工計画書を提出の上、監督職員の承諾をうけること。特別管理産業廃棄物(有・無)

○ 産 業 廃 棄 物 の 処 理

請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づき、適確に処理するものとし、事前に施工計画書を提出の上、監督職員の承諾をうけること。特別管理産業廃棄物(有・無)

○ 保 険

請負人は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。  
・ (○ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事)

※ 公 害 対 策

工事着工前に付近の状況を調査し、公害対策は工事完成まで講じる。

※ 安 全 対 策

工事車両の出入りについては、危険防止に努めること。また、必要に応じて交通安全員を配置すると共に近隣家屋に騒音、振動等公害発生のおきよう留意し、工事全段に配慮するものとする。

○ 統 括 安 全 衛 生 管 理 者

労働安全衛生法の統括安全衛生管理責任者は、(○ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事)の安全衛生を指導する。

○ 別 途 工 事 の 連 絡 協 議

請負人は工事別の業者でお互いの連絡をとり、定期的に協議会を行い、施工上の調整を図る。また工事区分の取合いについて、図示あるもの施工時に必要に応じ協議を行い、連絡を密にすること。

○ シ ン ナ ー 等 の 保 管 管 理

シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共に、保管数量については作業前・作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。

○ 過 積 載 の 防 止 措 置

請負人は過積載等の違法防止を行うため、道路交通法を順守する旨を記載した施工計画書を提出し徹底を図る。

○ 暴 力 団 員 等 に よ る 不 当 介 入 の 排 除

滋賀県のある建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について(「不当介入に関する通報制度」)の徹底について  
1 請負者(請負人または受注者は、暴力団員等(暴力団の構成員および暴力団関係者、その他県発工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。)による不当介入(不当な要求または業務の妨害)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するものとし、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、措置上必要な協力を行うものとする。  
2 請負者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書(別記様式上の第1号)により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。  
請負者は、以上のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、十分に指導を行うものとする。

		3 請負者は、数日以内等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。																																												
○	工事関係車両の電波法遵守	請負人は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現場において不法無線局を搭載している疑わしい車両を確認したときは、速やかに監督職員にその報告する。																																												
※	フロンの回収等	冷媒にフロンを使用している機器の撤去においては、メーカー等によりフロンガスを全量回収し大気放出をしない処理を行うこと、施工は特定フロンを使用した材料・工法を用いないこと																																												
○	工事カルテの作成・登録	請負人は、工事請負代金 500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けた後、財団法人日本情報処(センター)(JACI)に登録するとともに、センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。 (1) 受注登録の期限は、契約締結後10日以内とする。 (2) 竣工登録の期限は、工事完成後10日以内とする。(2,500万円未満は不要) (3) 受注登録の内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更登録を行うこと。(2,500万円未満は不要)																																												
※	提出書類	工事着工前及び完成引渡し時には、下記の書類を提出すること。詳細は監督職員の指示による契約書、契約見積書、工程表、施工計画書(要領書)、施工図、製作図、工事書写、保証書、工事日報、検査測定表、各種検査手続控え、検査済書、完成書写、完成図書、完成図書等																																												
○	発生材の処理等	請負人は、(1)建設副産物の発生抑制(2)リサイクル活動の推進(3)建設副産物の処理の適応化等の推進を行うため、書面により提案を行い監督職員に協議報告を行うこと。発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理の上調査を添えて監督職員に引渡す。																																												
※	その他	着工工先支り製付木(A1・A3・25折り) 3部提出のこと。 本工事契約前に貸渡事項等がある場合は、法的および技術上において本設計図施工内容を承諾したものとみなす。各種の検査合格をもって引渡し完了とする。																																												
E)	共通事項																																													
○	屋外地中配管に於いては、埋設標示テープ、標示ピン及び標示杭を分岐・曲がり箇所に設ける。(排水管を除く)																																													
○	屋外地中配管に於いては、配管の下に埋設砂を100mm以上の敷設量、埋め戻しは管の耐力の範囲内で厚さ300mm毎にダンパー、ランマー等で敷き固め、直埋敷管を用いてはならない。																																													
○	地中埋設の鋼管類は防鼠設置を行う。またコンクリート貫通箇所はプラスチックテープを巻き、モルタル埋めとする。																																													
○	建物内配管及びビット内の配管支持は全てスリーブ方式、ステンレス製用金具(棒組み)にて用り支持とする。																																													
○	コンクリート製の会所等と、環境強化ビーム工場の接続部は付加加工の工場製品を使用し、漏れ防止を図る。																																													
○	弁柵・量水器柵内は玉砂利の敷設を行うこと。																																													
○	配管には空気だまりのないように施工し、図示以外で機能上必要と思われる箇所には空気抜き弁を取付ける。																																													
○	ライニング鋼管(鋼管)は、ねじ加工をリングゲージで確認後、ライニング部をスクリューで面取りし、鉄部を露出させないこと。シール材(シールテープは使用しない)はおねじに塗布し、パイプレンヂで適切に締め付ける。																																													
○	既設建物かつ、穴開け等に関してはダイヤモンドカッターを使用するものとし、事前に簡易配筋探査を行うこと。																																													
○	本工事に取付く機器の結線確認はすべて本工事とする。																																													
○	施工に際し、既設内容・取付内容を良く調査して、既存設備の機能を低下させてはならない。なお、当該工事範囲において、既設配管等があった場合は、監督職員の指示により、本工事で迂回等の工事を行う。また撤去工事は、特に既設配管の先行を確約の上安全に処理する。																																													
○	防火、防煙ダンパー類は、国土交通大臣が定めたもの及び同認定を受けたものを使用する。																																													
○	防火区画貫通に於いては、関係法規に基づき完全に施工する。																																													
○	機械設備工事内で電気設備を含む場合には、電気設備工事(○一括工事・分繕工事)に準ずる。																																													
○	機械設備工事内で建築工事を含む場合には、建築工事(○一括工事・分繕工事)に準ずる。																																													
○	機械の据付、配管支持については、地耐力を考慮し、「建築設備用震害設計施工指針」を参考とする。																																													
○	屋外及び竜巻等の多湿場所における給水管は、ポリスチレンフォームにて保温する。																																													
○	上記以外給水管及び排水管、冷水管等は、(○グラスウール・ポリスチレンフォーム)にて保温する。																																													
○	屋外露出配管は合成樹脂カバー仕上を行うこと。																																													
○	屋外及び厨房内の保温仕上は、(○ステンレス ○カラー鉄板)とする。																																													
○	床排水目皿のわんトラップは樹脂製とする。																																													
○	全てのバルブには、系統及び口径を記入した札を取り付ける。																																													
○	改修工事の際に新設した配管と既設配管を接続する場合は、バルブを取付、工事範囲を明確にする。ただし、消火配管のバルブは、工事完了後に全面にハンドリングを外しておく。(所轄消防署と協議のこと)																																													
○	100mm切斷復旧及びコンクリート切斷復旧工事の場合は、既設設備に準じ準に準ずる。																																													
○	保温付被覆鋼管を支持する場合は、保温付保護の為、断熱被覆テープ2回巻きたる上に支持バンド等で固定する。																																													
○	屋外及び屋外露出となる配管には、指定色にて塗装工事を行うこと。																																													
○	本工事に必要な施設電力、ガス、水道等の引込工事費、負担金、基本料金、使用料金等は引渡し日まで、原則として請負人の負担とする。(○建築工事・電気設備工事・機械設備工事)																																													
○	有償材の処分については、監督職員と協議を行い、適切に処分すること。																																													
○	各リストの数量は平面図等から数量を再確認すること。																																													
○	本工事の施工については、下記に示す1～9の法令・規則に基づき確実に施工する。																																													
	1、水道法施行令第5条																																													
	2、建築基準法施行令第129条の2の4、及び、関係告示。																																													
	3、ガス事業法第162条の規定に基づき適切に施工する。(都市ガス)																																													
	4、下水道法10条、下水道法施行令第8条(排水設備の設置及び構造の技術上の基準)																																													
	5、H24告示1447号(設備の構造強度)																																													
	6、S50告示1597号(給水、排水配管設備)																																													
	7、S48告示2563号(防火設備の構造方法)																																													
	8、H11告示1390号(飲料水配管設備)																																													
	9、H12告示1389号(屋上から安全上支障のない支持構造部への取付部及び構造耐力上主要な部分への過重及び外力によつて当該部分に生じる力に対して安全な支障のないことを確保すること)																																													
○	建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は、腐食のおそれがないものとする。																																													
○	建築物に設ける給水・排水その他の配管設備は、下記に示す1～4の項目に準ずる。																																													
	1、腐食、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全支障の無い構造とすること。																																													
	2、建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。																																													
	3、管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合においては、伸縮継手又は可とう継手等を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。																																													
	4、管を支持し、又は固定する部分においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。																																													
○	耐震性能の確認	1) 耐震措置の計算・施工方法は、標仕、標準団及び図示以外は「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版(11月期)日本建築センター発行」による。 2) 下記の設計用水平震度及び鉛直震度により、据付ボルト、アンカーボルトなどの耐震性能を確認し、報告書を作成提出し、監督職員の承認を受ける。 イ) 設計用水平震度																																												
	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">○ 特定施設</th><th colspan="4">※ 一般施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要水櫃</th><th>一般水櫃</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要水櫃</th><th>一般水櫃</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>中層階</td><td>1.5</td><td>(1.5)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>(1.5)</td><td>0.6</td><td>1.0</td></tr><tr><td>1階及び地下階</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>(1.0)</td><td>0.6</td><td>0.6</td></tr></table>	設置場所	○ 特定施設				※ 一般施設				重要機器	一般機器	重要水櫃	一般水櫃	重要機器	一般機器	重要水櫃	一般水櫃	上層階、屋上及び塔屋	(2.0)	(1.5)	2.0	1.5	(2.0)	(1.5)	1.5	1.0	中層階	1.5	(1.5)	1.5	1.0	1.0	(1.5)	0.6	1.0	1階及び地下階	(1.0)	(0.6)	1.5	1.0	0.6	(1.0)	0.6	0.6	注) ( )内の数値は、防震支の機器の場合を示す。
設置場所	○ 特定施設				※ 一般施設																																									
	重要機器	一般機器	重要水櫃	一般水櫃	重要機器	一般機器	重要水櫃	一般水櫃																																						
上層階、屋上及び塔屋	(2.0)	(1.5)	2.0	1.5	(2.0)	(1.5)	1.5	1.0																																						
中層階	1.5	(1.5)	1.5	1.0	1.0	(1.5)	0.6	1.0																																						
1階及び地下階	(1.0)	(0.6)	1.5	1.0	0.6	(1.0)	0.6	0.6																																						

		(ロ) 鉛直震度は、水平震度の1/2とする。 (備考1) 重要水槽は重要機器として扱う水槽類、一般水槽は一般機器として扱う水槽類を指し、水槽類にはオイルタンク等を含む。 (備考2) 上層階は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階を指す。 (備考3) 中層階は、1階を除く各階で上層階に該当しないものを指す。 (備考4) 設置場所の区分は、機器を支えている床部分にしたがって適用する。 床又は壁に支持される機器は当該階を適用し、天井より支持(上階床より支持)される機器は支持部材取付床の階(当該階の上層)を適用する。 ○本工事において、重要機器及び重要水槽は、下記に示すものとする。 ( )	
F) 特記事項			
①	給排水設備	方 式 負 担 金 等 引 込 工 事 配 管 材 料 ○ 継 手 ・ 弁 等 ○ 水 質 試 験 ○ そ の 他	・ 直圧式 ○ 加圧式 ・ 重力式 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 既設 屋外埋設：※ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) ・ ビニルライニング鋼管(VD) 屋外架空：※ ビニルライニング鋼管(VA) ・ ポリ粉体ライニング鋼管(PA) 屋内埋設：※ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) ・ ビニルライニング鋼管(VD) 屋内架空：※ ビニルライニング鋼管(VA) ・ ポリ粉体ライニング鋼管(PA) ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆形)を使用。ライニング鋼管に使用する50A以下の弁は管端コ付弁、65A以上はライニング弁とする。 飲料水適性試験(9項目+炭疽培養)を行う。(1箇所) 給水の引込工事、その他については各市町村の条例規則により完全に施工する。
②	排水通気設備	方 式 配 管 材 料 ○ 漏 れ 試 験 ※ そ の 他	・ 単独式 ・ 合流式 ※ 屋内外分屋外合流式 [汚水・雑排水・通気配管] 屋外埋設：※ 硬質塩化ビニル管(VU) ・ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 卵形管 屋外架空：※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ ビニルライニング鋼管(DVLP) 屋内埋設：※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ ビニルライニング鋼管(DVLP) 屋内架空：※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ ビニルライニング鋼管(DVLP) ・ 耐火二層管 ビット内：※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ ビニルライニング鋼管(DVLP) ・ 耐火二層管 ・ 燃気試験 ※ 通水試験 ※ 満水試験 ※ 曲り部ではできる限り大曲がりエルボを使用し排水の流通をよくする。 ※ 5階以上の建物に關する排水管には各階毎に満水試験継手を設ける。
③	衛生器具設備	衛 生 器 具 ※ そ の 他	別図器具リストによる。記載なき附属品にはメーカー標準品取付け可。 ※ 水栓類は節水コマ付、フラッシュバルブは節水型とする。 ※ 管末屋外水栓は凍結防止水栓(自動不凍コマ付)とする。 ※ 大形鏡の裏には、クッション材を入れ割れ防止を行う。 ※ フラッシュバルブの取付けは、事前に水压を測定し(水压が低い場合は、低圧用フラッシュバルブに変更)、現状水压に適した器具を選定すること。
4	ガス設備	負 担 金 等 配 管 材 料 試 験 ガ ス の 種 別 ○ そ の 他	・ 要 ※ 不要 屋外埋設： ※ ガス用ポリエチレン管(PE) ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLP) 屋外架空： ※ 配管用炭素鋼管(白) 屋内埋設： ※ ガス用ポリエチレン管(PE) ・ ポリエチレン被覆鋼管(PLP) 屋内架空： ※ 配管用炭素鋼管(白) 気密試験後、点火試験を行い燃焼の確認、機器調整を行うこと。 ・ 都市ガス(13A) ・ プロパンガス ・ その他( ) 埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成樹脂被覆ボールバルブとする。 液化石油ガス法、ガス事業法、高圧ガス取締法および、ガス機器設置基準に基づいて施工を行う。 配管用炭素鋼管の支持は、絶縁材を使用する。 配管用炭素鋼管で50A以下はネジ接合とし、80A以上は溶接接合とする。
⑤	給湯設備	方 式 給 湯 ボ イ ラ ー 熱 源 配 管 材 料 煙 導 材 料 ○ そ の 他	○ 個別方式 ・ 中央方式 ・ 中央個別方式 ・ ガス湯沸器(瞬間式) ○ 電気温水器(貯湯式) ・ 温水発生機 ・ 石油湯沸器(瞬間式) ・ 電気温水器(瞬間式) ・ 温水ボイラ ○ 電気 ・ 灯油 ・ A重油 ・ 都市ガス ・ プロパンガス ○ 鋼管(M) ・ 被覆鋼管 ・ 耐熱性硬質ビニル管(HTVP) ・ 保温付被覆鋼管 ・ 耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管(HTLP) ・ 鋼板製 ・ 亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製 ガス湯沸器及び電気温水器の接地工事(本体から接地電源コンセント(電気工事)までの配線)は、本工事で行う。
⑥	消火設備	方 式 配 管 材 料 ○ そ の 他	・ 水噴霧消火 ・ 泡消火 ・ 屋外消火栓 ・ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 連結取水 ・ 移動式粉末消火 ・ 炭酸ガス ○ スプリンクラー 屋外埋設：※ 塩ビ外面被覆鋼管(VS) ・ ポリエチレン外面被覆鋼管(PS) 屋外架空：※ 配管用炭素鋼管(白) ・ 水道用並詰めき鋼管(SOPW) 屋内埋設：※ 塩ビ外面被覆鋼管(VS) ・ ポリエチレン外面被覆鋼管(PS) 屋内架空：※ 配管用炭素鋼管(白) ・ 圧力配管用炭素鋼管(STPG) 所轄消防署と十分協議の上、完全に施工を行う。 屋外露出配管は保温(給水設備に準ずる)を行う。
⑦	空調設備	設 計 温 湿 度 条 件 場 所 時 期 夏 期 冬 期 屋 外 温 度 (DB) 湿 度 (RH) 屋 内 温 度 (DB) 湿 度 (RH)	○ 個別方式 ・ 中央方式 ・ マルチ方式 ・ 中央・個別方式 ○ 電気 ・ 灯油 ・ A重油 ・ 都市ガス ・ プロパンガス ・ 空冷式チリングユニット ・ 吸気式冷水機 ・ 空冷式蓄熱ユニット ・ 温水ボイラー ・ 温水発生機 ・ ヒートポンプチャラー ・ ファンコイルユニット ・ エアーハンドリングユニット ・ ファンコンベクター ・ 電気式ヒートポンプエアコン(水蓄熱) ・ コンベクター ○ 電気式ヒートポンプエアコン ・ 温風暖房機 ・ ガス式ヒートポンプエアコン ・ 電気パネルヒーター ・ 灯油式ヒートポンプエアコン 冷水温水管： ・ 水道用並詰めき鋼管(SOP-W) ・ 耐熱性ビニルライニング鋼管(HTLP) 冷却水管： ・ ビニルライニング鋼管(VA) ・ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP) 冷媒管：※ 保温付鋼管 ・ 脱酸鋼管(L) 排水管：※ 硬質塩化ビニル管(VP) ・ 配管用炭素鋼管(白)

[illegible]

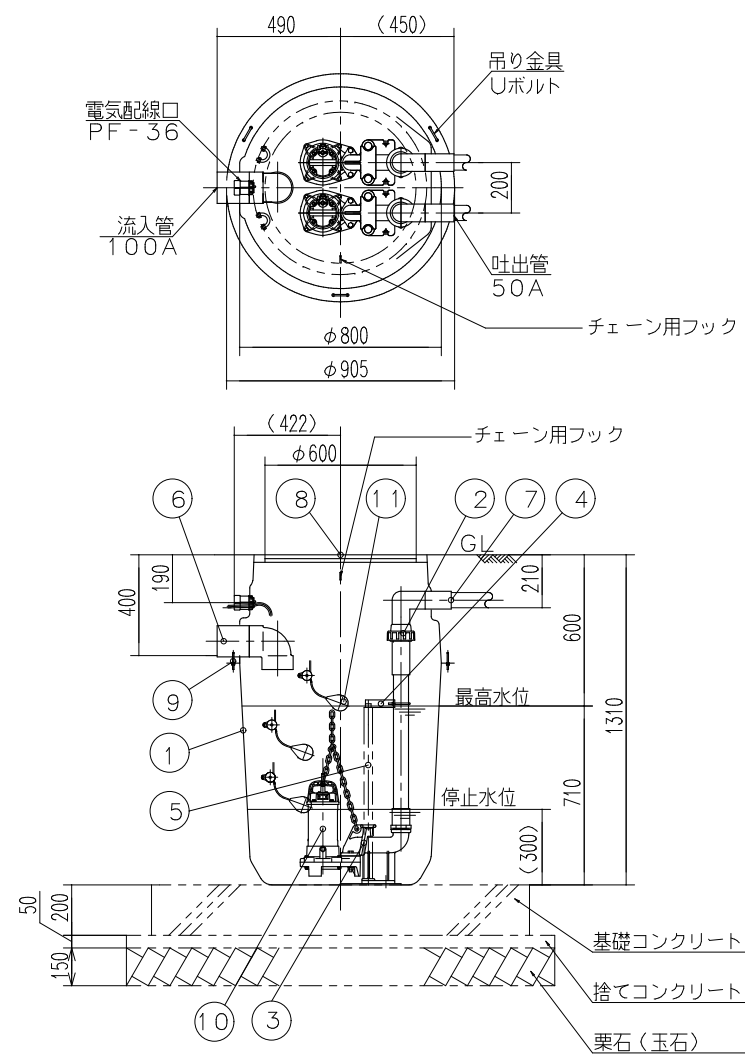
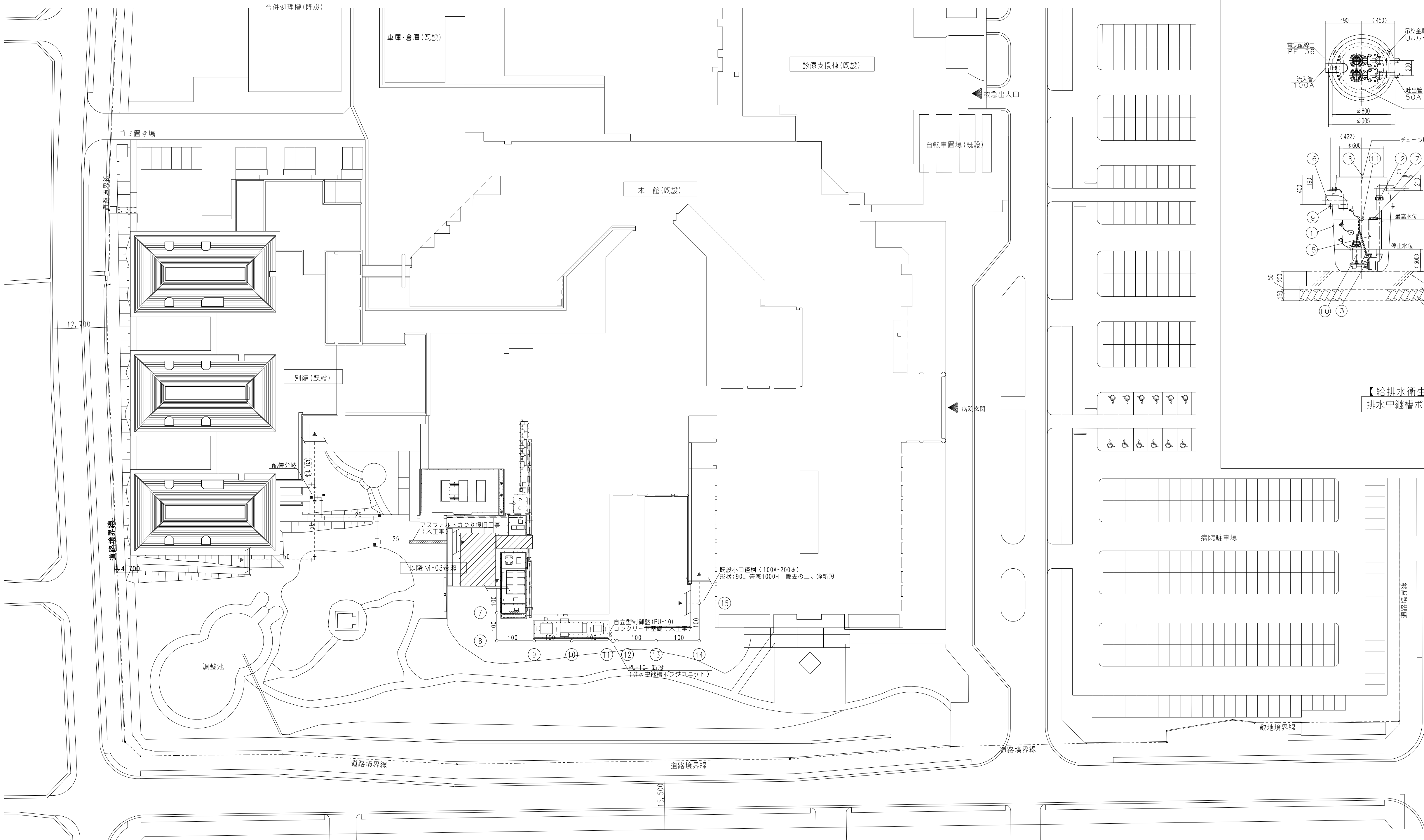
訂正事項		株式会社 水 原 建 築 設 計 事 務 所 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号 北 村 通 彦 根 市 長 曾 根 南 町 4 4 3 番 地 TEL 0749-22-1679	市立長浜病院放射線治療診察室等増築工事			機械設備工事		SHEET NO.  M-01	
						特記仕様書			
				DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE		SCALE - (A1) - (A3)

改修図

衛生機器リスト

記 号	機 器 名	仕 様	電 源	電気容量			台数	設置場所	備 考
				名称	入力	出力			
PU-10	排水中継槽ポンプユニット	形 式 自動交互並列運転 □ 径 50A 水 量 10 L/min 揚 程 10 m 寸 法 600φ x 1,310H 槽容量 0.30 m3 (有効水量) 付属品 屋外自立型制御盤 (制御盤へポンプの警報, 電源配線, 配管共), かさ上げ材, 錆鉄製マンホール蓋, 仕切弁x2, 逆止弁x2, 標準付属品 ※制御方法: ポンプ2台による排水、フロート4個による液面制御 [ 警報: 1号故障、2号故障、排水槽満水、一括 ]	1φ-100V		0.4×2 kW		1	屋外	RPV-50PVT-6, 4S-BBⅡC (テラル)

注 記: リスト中の機器については、国土交通省仕様とする。



序号	部 品 名	数 量	材 質
1	中継槽	1	FRP
2	逆止弁	2	PVC
3	着脱装置	2	FC200
4	パイプリポーター	1	SUS304
5	ガイドパイプ	4	SUS304
6	流入配管	1	PVC
7	吐出配管	2	PVC
8	マンホール蓋	1	PP
9	吊り金具	3	SS400
10	ポンプ	2	
11	フリースイッチ		

中 經 槽 要 目	
型 式	BII-60
容 量	0.56 m <sup>3</sup>
有効水量	0.30 m <sup>3</sup>

適用ポンプ標準型式		
ポンプ型式		出力 (kW)
自動運転式	50PVT	0.25S/0.4S 0.25/0.4/0.75

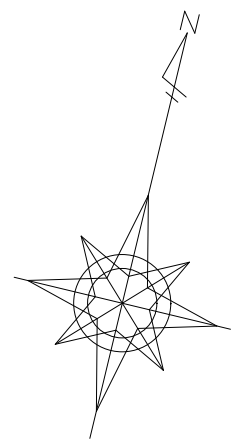
排水中継槽ポンプユニット参考図 S=1/30

【給排水衛生設備】  
配置図 S=1/500

注記：国中の ■ 印は、埋設標示機を●印は、埋設標示ピンを示す。

- 増築工事にかかる解体及び杭工事前に埋設物調査を十分に行うこと。
- なお、調査により撤去又は移設が必要な場合は監督職員と協議し、全て本工事に処理すること。
- 排水中継ポンプユニットは周囲を補強コンクリート施工すること。
- またメカール標準施工仕様に基づき適切に施工を行うこと。

改修図



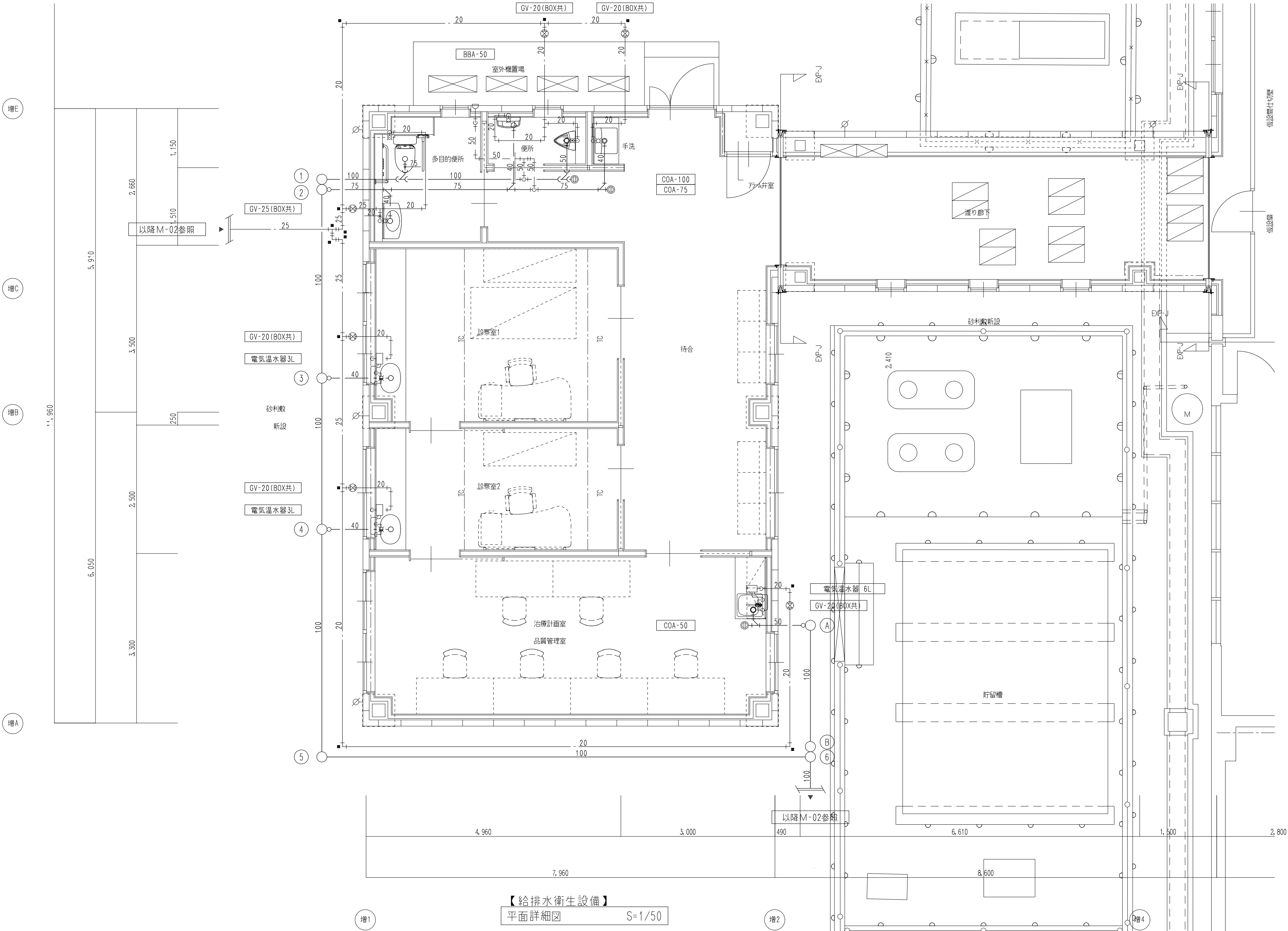
排水樹リスト

記号	寸 法	深さ (設計GL)	形状	蓋	仕 様	記号	寸 法	深さ (設計GL)	形状	蓋	仕 様
1	100A-200φ	400	90L	塩ビ製	インバート樹	11	100A-200φ	1,590	ST	塩ビ製	インバート樹
2	100A-200φ	410	UT	塩ビ製	トラップ樹	12	100A-200φ	400	ST	塩ビ製	インバート樹
3	100A-200φ	490	UT	塩ビ製	トラップ樹	13	100A-200φ	620	ST	塩ビ製	インバート樹
4	100A-200φ	550	UT	塩ビ製	トラップ樹	14	100A-200φ	820	90L	塩ビ製	インバート樹
5	100A-200φ	640	90L	塩ビ製	インバート樹	15	100A-200φ	1,000	90Y	塩ビ製	インバート樹
6	100A-200φ	830	90Y	塩ビ製	インバート樹						
7	100A-200φ	950	ST	塩ビ製	インバート樹	A	100A-200φ	400	UT	塩ビ製	トラップ樹
8	100A-200φ	1,080	90L	塩ビ製	インバート樹	B	100A-200φ	820	DR	塩ビ製	ドロップ樹
9	100A-200φ	1,250	ST	塩ビ製	インバート樹						
10	100A-200φ	1,420	ST	塩ビ製	インバート樹						

注記：上記リスト中の深さについては、参考とし現地測量の上決定する事。  
施工については、長浜市下水道基準に基づき完全に行う事。  
トラップ樹はトラップ掃除口蓋に通気蓋を設置すること。

衛生器具リスト

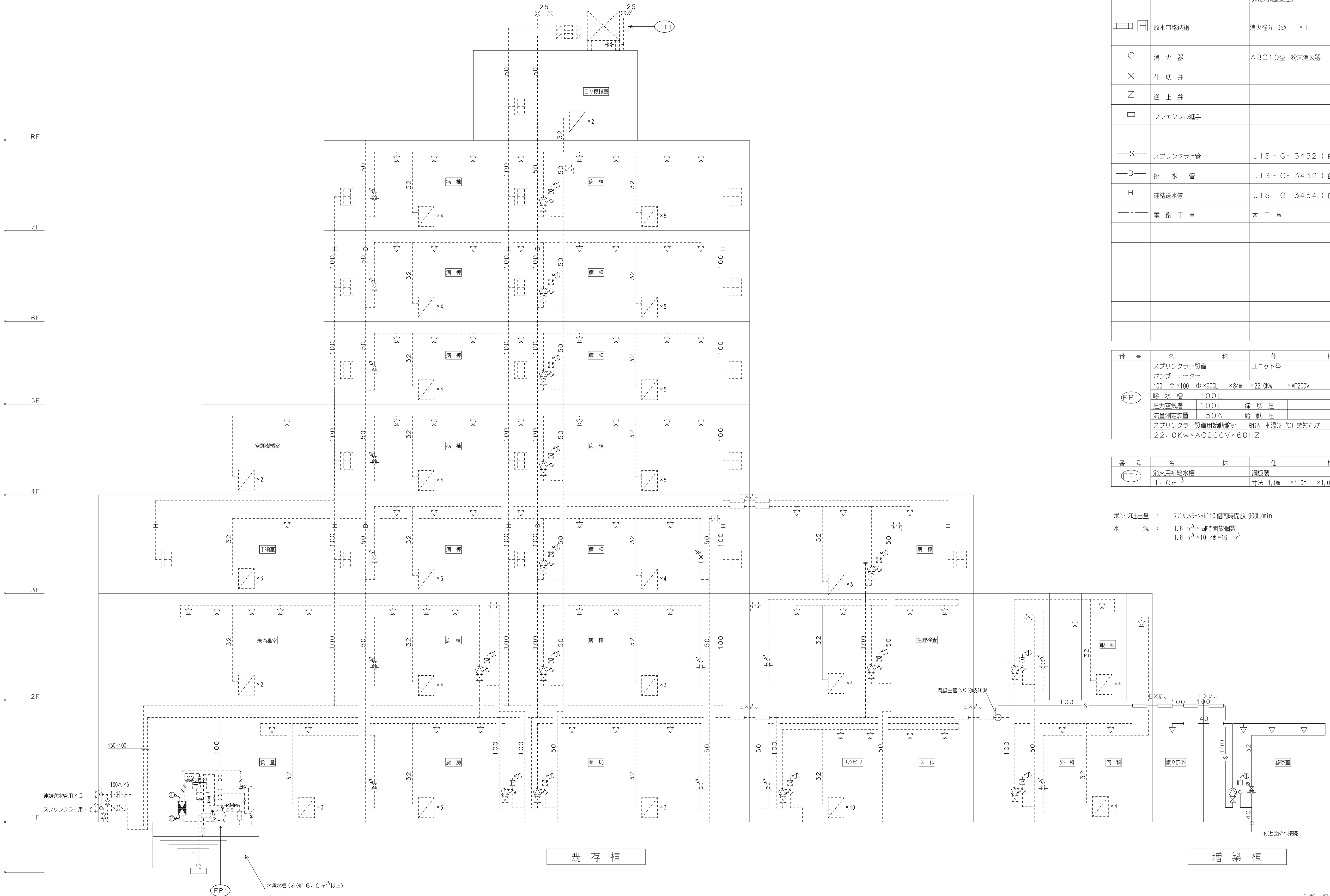
器 具 名	仕様	参考品番 (TOTO)	付属品	電 源	消費電力	診察室 1	診察室 2	治療 計画室 品質 管理室	多目的 便所	手洗い (待合)	合計
壁掛大便器	フラッシュタンク式、洗浄暖房便座、棚付二連紙巻器	U4XC3CS1	TCF5840AUPN, TL347CU, YH701	1φ100V	1,260 W				1		1
壁掛小便器	自動洗浄	UFS900JCS		1φ100V	24.0 W					1	1
マーブライトカウンター	ボウル一体タイプ (W=1,000), 自動水栓	MK50	TLE26506J, M356W	1φ100V	1.0 W					1	1
コンパクト手洗器	自動水栓	LSE870APR		1φ100V	1.0 W				1		1
フッソーカンナ式洗面器	自動水栓	L582CS	TENA41A, TLDP2201J, TL516GR	1φ100V	1.0 W	1	1				2
壁掛洗面器	自動水栓	L270C	TEN87G1, TL220D, TLDP2201J	1φ100V	1.0 W			1			1
電気温水器	手洗用3L	REWF03B1SM	RHE97H-32, TL347CU	1φ100V	600 W	1	1				2
電気温水器	手洗用6L	REW06A1DKSCM	RHE706, RHE97H-32, TL347CU	1φ100V	1,100 W			1			1
L形手すり	L=700mm	T112CL12	固定金具						1		1
はね上げ手すり	L=700mm	T112HK7R	固定金具						1		1
化粧鏡	450x600	YM4560A	固定金具							1	1
化粧鏡	480x1100	YMK52K	固定金具						1	1	2
カウンター	(建築工事)					1	1				2
流し台(水栓共)	(建築工事)							1			1



【給排水衛生設備】  
平面詳細図 S=1/50  
注記：図中の ■ 印は、埋設標示杭を ・ 印は、埋設標示ピンを示す。



改修図



凡 例

記 号	名 称	備 考
○ ↓	閉鎖型SPヘッド	72℃ 104℃
△	アラーム弁	100A
◇ 3/4	末端試験弁	25A
■ ▨	補助散水栓	消火栓弁 25A×1、JIS A25A×1 A=225A×20m×1 非常用電話組込
▨ ▨	放水口格納箱	消火栓弁 65A ×1
○	消 火 器	ABC10型 粉末消火器
⋈	仕 切 弁	
⋈	逆 止 弁	
□	フレキシブル継手	
—S—	スプリンクラー管	JIS - G- 3452 (白)
—D—	排 水 管	JIS - G- 3452 (白)
—H—	連結送水管	JIS - G- 3454 (白)
— — —	電 路 工 事	本 工 事

番 号	名 称	仕 様
(FP)	スプリンクラー設備	ユニット型
	ポンプ モーター	
	100 φ×100 φ×900 ×84m ×22.0Kw ×AC200V	
	貯 水 槽	100L
	圧力空気機	100L 締 切 圧
	流量測定装置	50A 始 動 圧
	スプリンクラー設備用始動機	組込 水温(2℃) 感知*1 起動制御
	22.0Kw×AC200V×60HZ	

番 号	名 称	仕 様
(FT)	消火用給水水槽	鋼板型
	1.0m <sup>3</sup>	寸法 1.0m ×1.0m ×1.0m 平架台

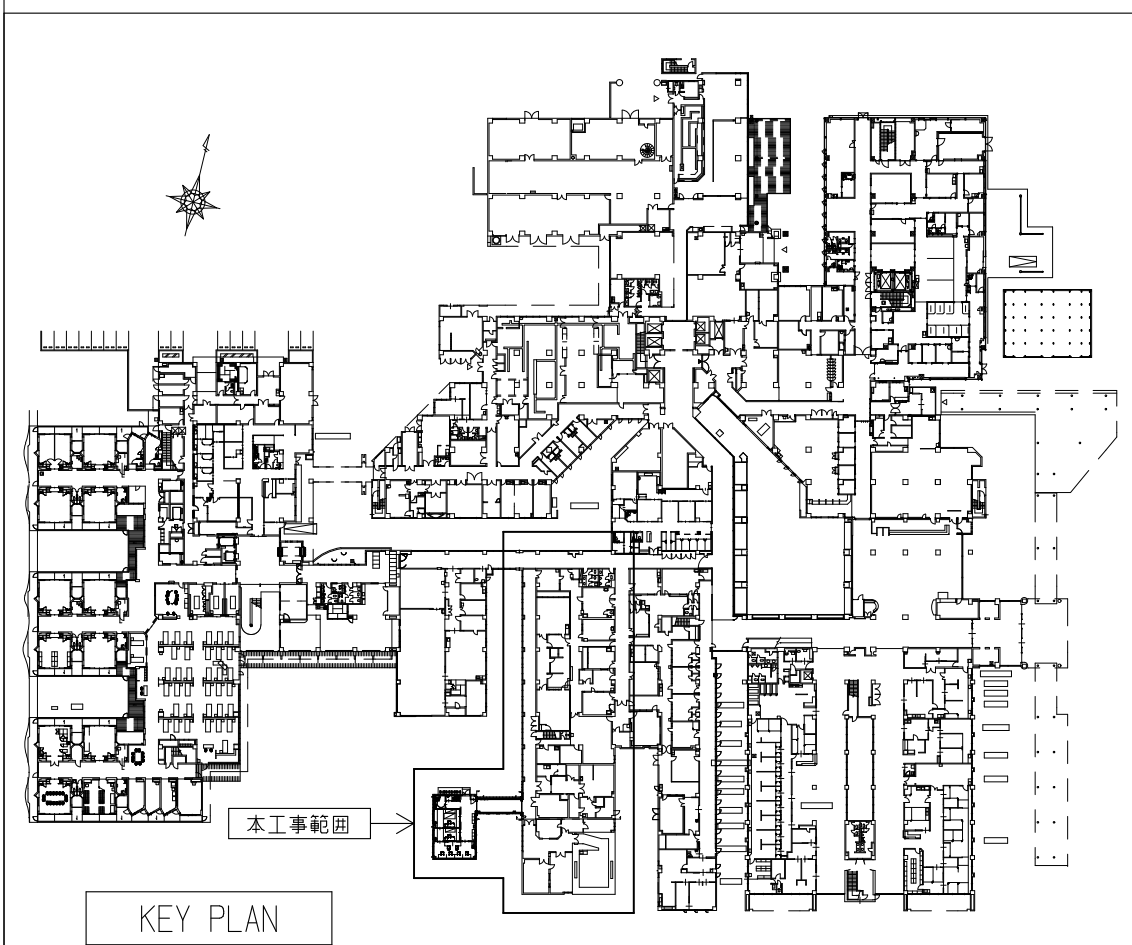
ポンプ吐量 : スプリンクラー10個同時開放 900L/min  
水 源 : 1.6 m<sup>3</sup> × 同時開放個数  
1.6 m<sup>3</sup> × 10 個 = 16 m<sup>3</sup>

注記：図中の - - - - - は既設を示す。  
：図中の ——— は新設を示す。

訂正事項			株式会社 水原建築設計事務所 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号 北村 通 彦根市長曾根南町4-4-3 番地 TEL 0749-22-1679	市立長浜病院放射線治療診療室等増築工事			機械設備工事 スプリンクラー設備 系統図 (改修図)		SHEET NO.  M-04
				DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	
								- (A1) - (A3)	

現況・撤去図

【取外し】  
待合廊下(3)  
既設スプリンクラーヘッド 17

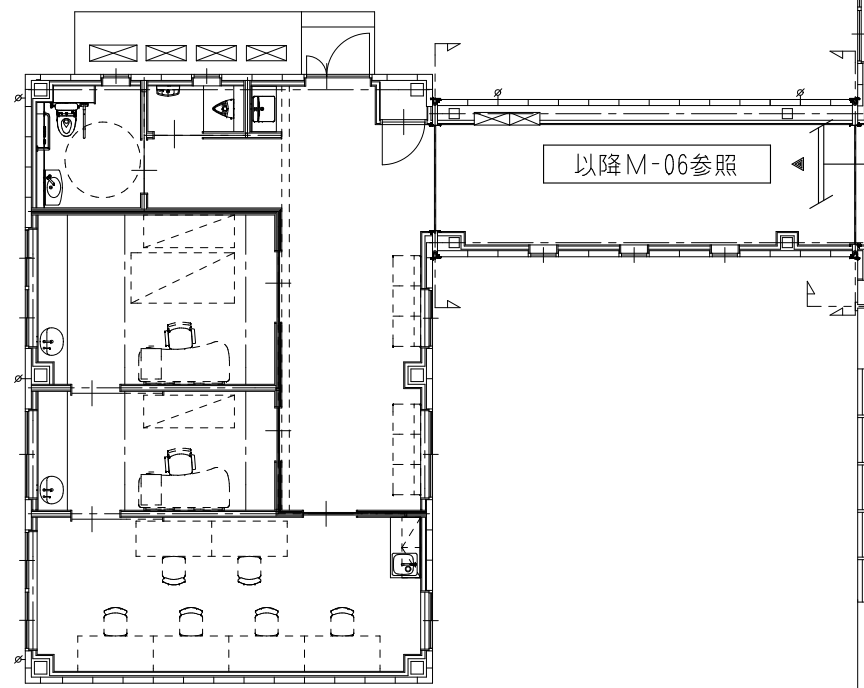


KEY PLAN

改修図

【再取付】  
待合廊下(3)  
既設スプリンクラーヘッド 17

増E  
5,910  
増B  
6,050  
増A  
6,190  
LY1



増1  
7,960  
増2  
6,610  
増4  
1,500  
増3  
2,600  
LX4  
8,000  
LX5  
6,000  
LX6

【スプリンクラー設備】  
全体平面図 S=1/150

注記：図中の ☆ 印は配管の分岐を示す。  
：図中の ——— は新設を示す。  
：図中の - - - - - は既設を示す。  
：図示以外の機器で撤去・移設が必要な物は  
監督職員と協議し、全て本工事で処理する事。  
：図中の ● は消火器(ABC粉末,10型)を示し、  
工事時スプリンクラーヘッドが使用不可時に  
設置すること。(6箇所)  
また、工事中にスプリンクラーヘッドの使用  
できない旨を十分に周知すること。

訂正事項

株式会社 水原建築設計事務所

一般建築士事務所 設置員番号登録 第63号  
一般建築士登録 第219285号

北村 通

彦根市長曾根南町4-4-3番地

TEL 0749-22-1679

市立長浜病院放射線治療診察室等増築工事

DRAWN BY

CHECKED BY

SUBMITTED BY

機械設備工事

スプリンクラー設備

全体平面図(現況・撤去図、改修図)

DATE

令和4年6月

SCALE

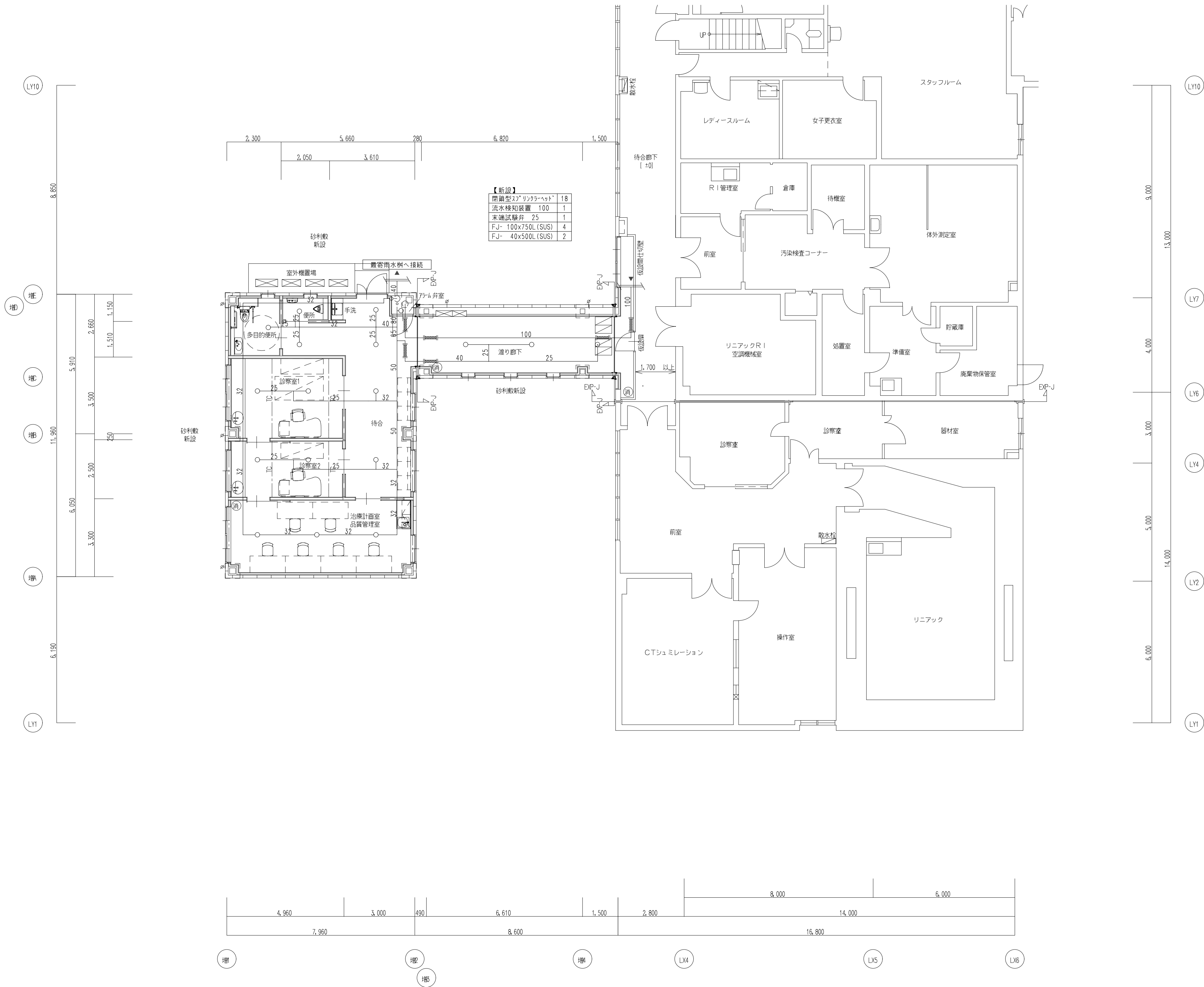
1/150 (A1)

1/300 (A3)

SHEET NO.

M-05

改修図



【スプリンクラー設備】  
平面図 S=1/100

改修図

医療ガス配管設備仕様書

1. 設備概要

1-1 酸素配管設備

酸素の供給は、天井内既設配管より分岐し、新たに図示された部屋へガスを供給する。  
供給源は、既設を利用する。

1-2 吸引配管設備

1-1に同じ

2. 配管工事

2-1 配管材料

ガスの種類	配管
酸素	リン脱酸銅継目無管 (JIS H 3300 C1220T Lタイプ) ガスの使用区分に応じた着色熱収縮性チューブを 被覆したものとする。

継手仕様

左記銅管による形成品  
JIS H 3401 銅及び銅合金の管継手  
JIS H 3250 銅及び銅合金棒C1100、  
C3602、C3712、C3771

備考

支持金具と銅管が直接接触しないよう  
銅管用支持具を使用する。

2-2 配管の支持間隔

支持間隔 (m) 1.5 以内  
曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。

2-3 配管の識別表示

隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被膜銅管を使用する。各識別色は下記による。

配管	酸素	吸引
色別	緑	黒

2-4 配管のろう付け

銅管のろう付け作業は、配管内部の酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を送気しながら行うものとする。

2-5 配管方式

配管は、天井内隠ぺい配管とする。

2-6 既設配管への接続

既設配管への接続工事については、事前に供給停止区域、閉止するバルブ、仮設供給方法について打ち合わせすること。

3. 検査、試験

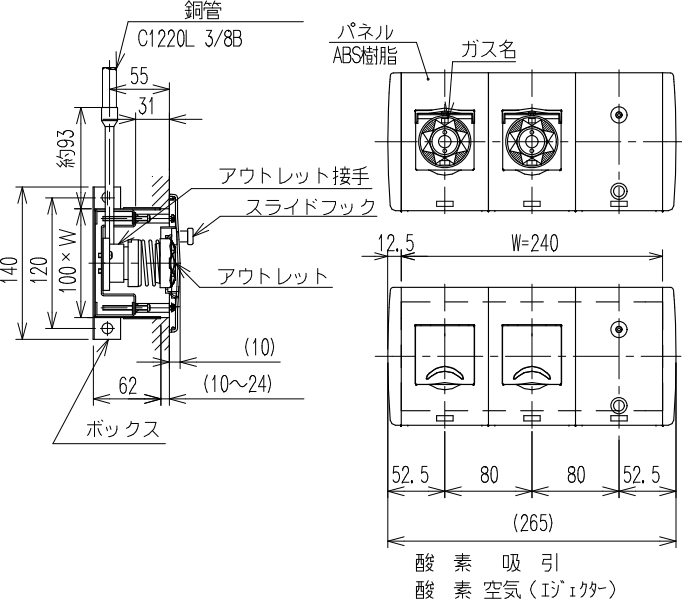
3-1 配管気密試験

気密試験の圧力及び時間は下表による。

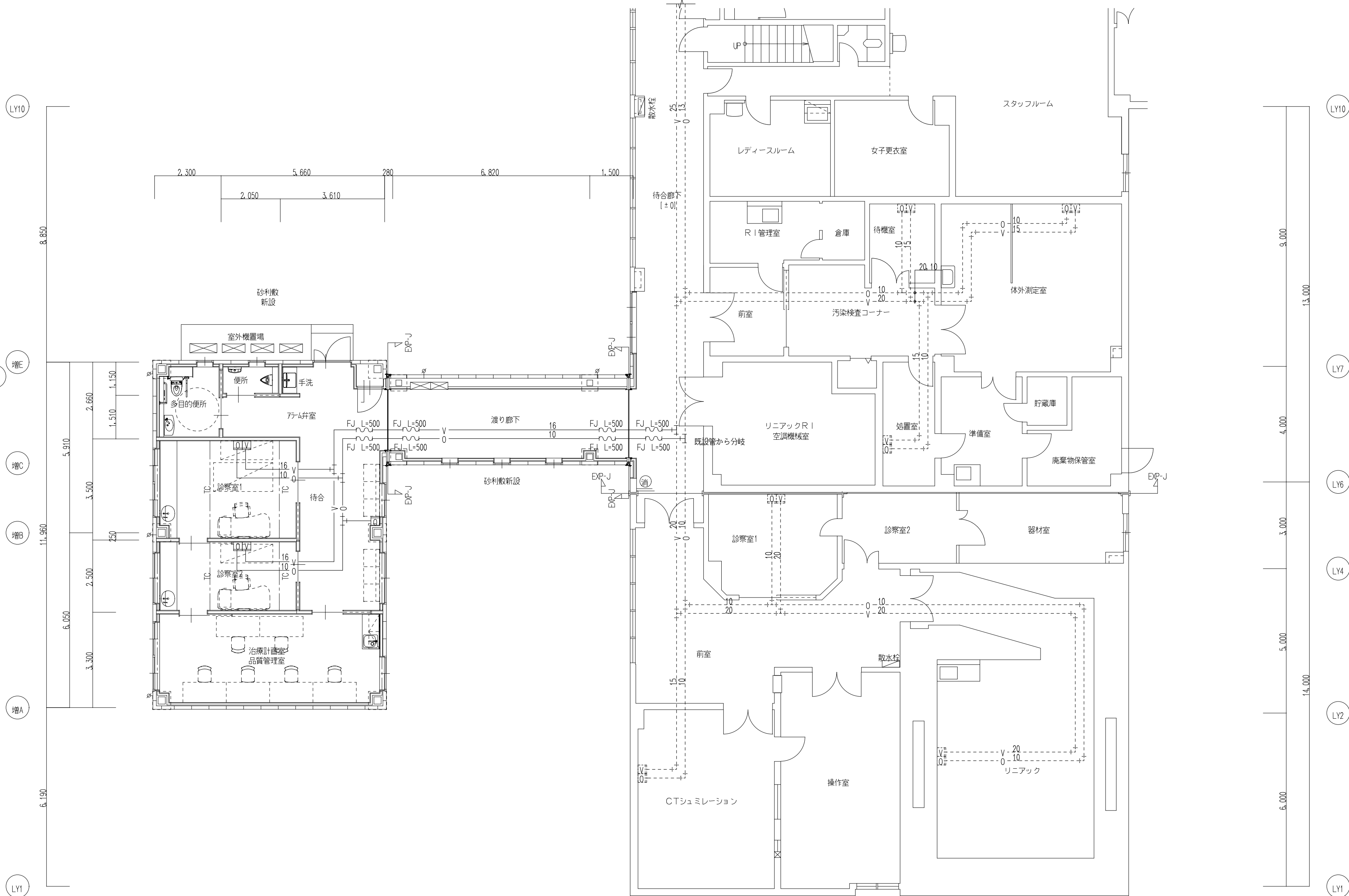
配管気密試験			
配管名	圧力 MPa	時間 h	使用ガス
酸素	1	24	窒素ガス
吸引	0.5	2	窒素ガス

3-2 配管内清浄度検査

施工した配管内に微小物質の有無について検査する。



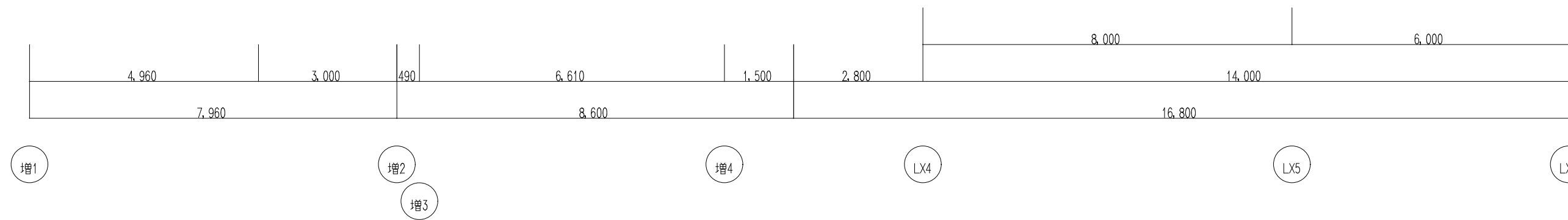
壁埋め込み型0VアウトレットBOX参考図



【医療ガス設備】

平面図 S=1/100

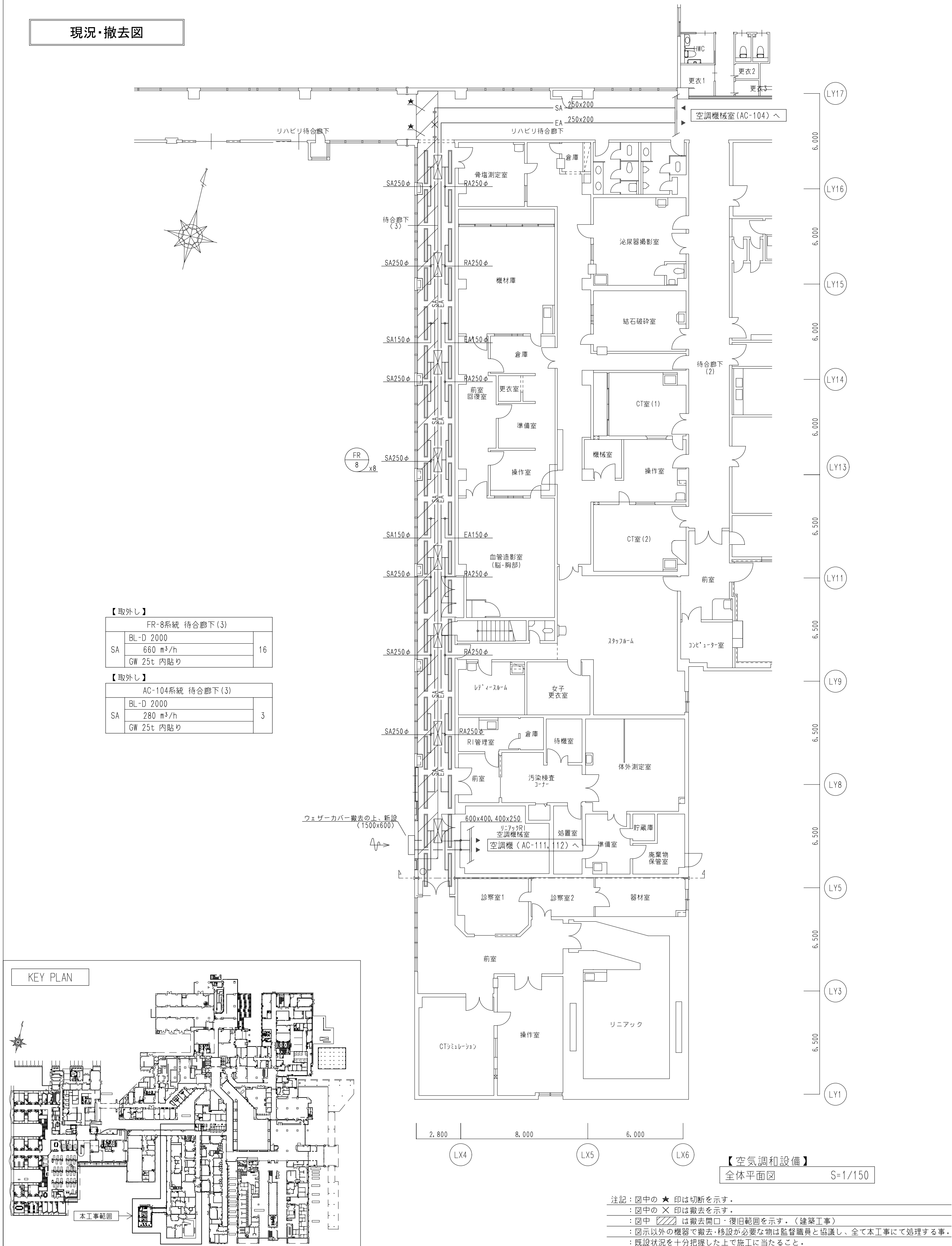
注記：図中の ——— は新設を示す。  
：図中の - - - - - は既設を示す。



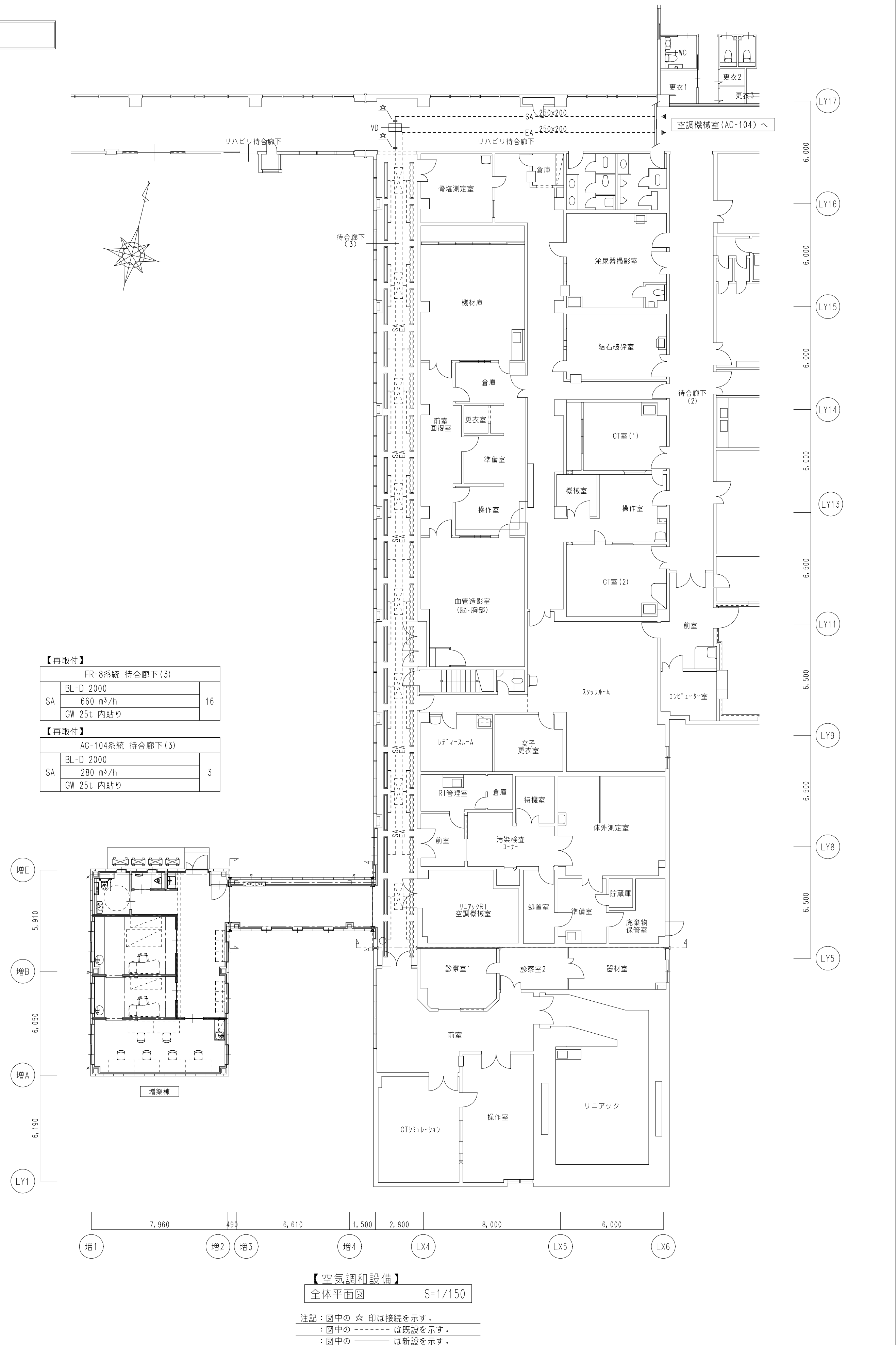
凡例
□□□□ : 壁型アウトレット (埋込型)
— 0 — : 酸素
— V — : 吸引 (バキューム)

訂正事項		株式会社 水 原 建 築 設 計 事 務 所 一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一般建築士登録 第219285号 北 村 通 彦 根 市 長 曾 根 南 町 4 4 3 番 地      TEL 0749-22-1679	市立長浜病院放射線治療診察室等増築工事			機械設備工事		SHEET NO.  M-07
	医療ガス設備							
	特記仕様書、平面図（改修図）			DATE		SCALE 1/100 (A1) 1/200 (A3)		
				DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY		

現況・撤去図



改修図



訂正事項

株式会社 水原建築設計事務所

一般建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
一般建築士登録 第219285号

北村 通

彦根市長曾根南町4-4-3番地

TEL 0749-22-1679

市長浜病院放射線治療診察室等増築工事

DRAWN BY

CHECKED BY

SUBMITTED BY

機械設備工事

空気調和設備

全体平面図(現況・撤去図、改修図)

DATE

SCALE

1/150 (A1)

1/300 (A3)

SHEET NO.

M-08



冷媒配管サイズ	
R 1	6.4φ x 12.7φ
R 2	9.5φ x 15.9φ
連絡配線 EM-EEF 2.0" -3C(ペア)	
アース線 EM-IE 2.0" -1C(ペア)	
上記冷媒配管に共巻き	

特 記 事 項
特記なき配管配線は下記を示す。
リモコン配線 ————— EM-CEE 1.25" -2C 天井コロガシ
⌘ : 空調リモコンスイッチを示す。(スイッチボックスは電気設備工事)
⌘ : リモコンスイッチの設置高さは芯でFL+1300とする。
壁内配線部分には保護管( P F 管 ) 及びスイッチボックスを設ける。
貫通部分の保護管は P F 管を使用のこと。
防火区画及び界壁貫通部は、耐火キット等( 国土交通省認定工法 ) にて区画貫通処理を行う。

空調機器リスト

記 号	機 器 名	仕 様	電 源	電気容量		台数	設置場所	参考品番 【ダイキン空調】
				名称	出力			
ACP-3.6 CK1	空冷H/Pエアコン	形 式 天井カセット 1方吹出形 (標準ペア)	3φ-200V	COMP	0.65 kW	1	診察室2	SZRK40BJT
		冷房能力 3.6 kW(1.7~4.0kW) 暖房能力 4.0 kW(1.8~5.3kW)		外FAN	0.07 kW			
		付属品 ワイヤードリモコン, 防雪フード, ゴムパット		内FAN	0.08 kW			
ACP-5.0 CK1	空冷H/Pエアコン	形 式 天井カセット 1方吹出形 (標準ペア)	3φ-200V	COMP	1.07 kW	1	診察室1	SZRK56BJT
		冷房能力 5.0 kW(2.3~5.6kW) 暖房能力 5.6 kW(2.6~7.1kW)		外FAN	0.07 kW			
		付属品 ワイヤードリモコン, 防雪フード, ゴムパット		内FAN	0.08 kW			
ACPD-7.1 CK2	空冷H/Pエアコン	形 式 天井カセット 2方吹出形 (ツイン同時)	3φ-200V	COMP	1.70 kW	1	待合	SZRC80BJTD
		冷房能力 7.1 kW(3.2~8.0kW) 暖房能力 8.0 kW(3.6~9.5kW)		外FAN	0.07 kW			
		付属品 ワイヤードリモコン, 防雪フード, ゴムパット		内FAN	0.05x2 kW			
ACPD-10.0 CK2	空冷H/Pエアコン	形 式 天井カセット 2方吹出形 (ツイン同時)	3φ-200V	COMP	1.95 kW	1	治療計画室・品質管理室	SZRG112BJD
		冷房能力 10.0 kW(4.8~11.2kW) 暖房能力 11.2 kW(5.4~14.0kW)		外FAN	0.19 kW			
		付属品 ワイヤードリモコン, 防雪フード, ゴムパット		内FAN	0.05x2 kW			

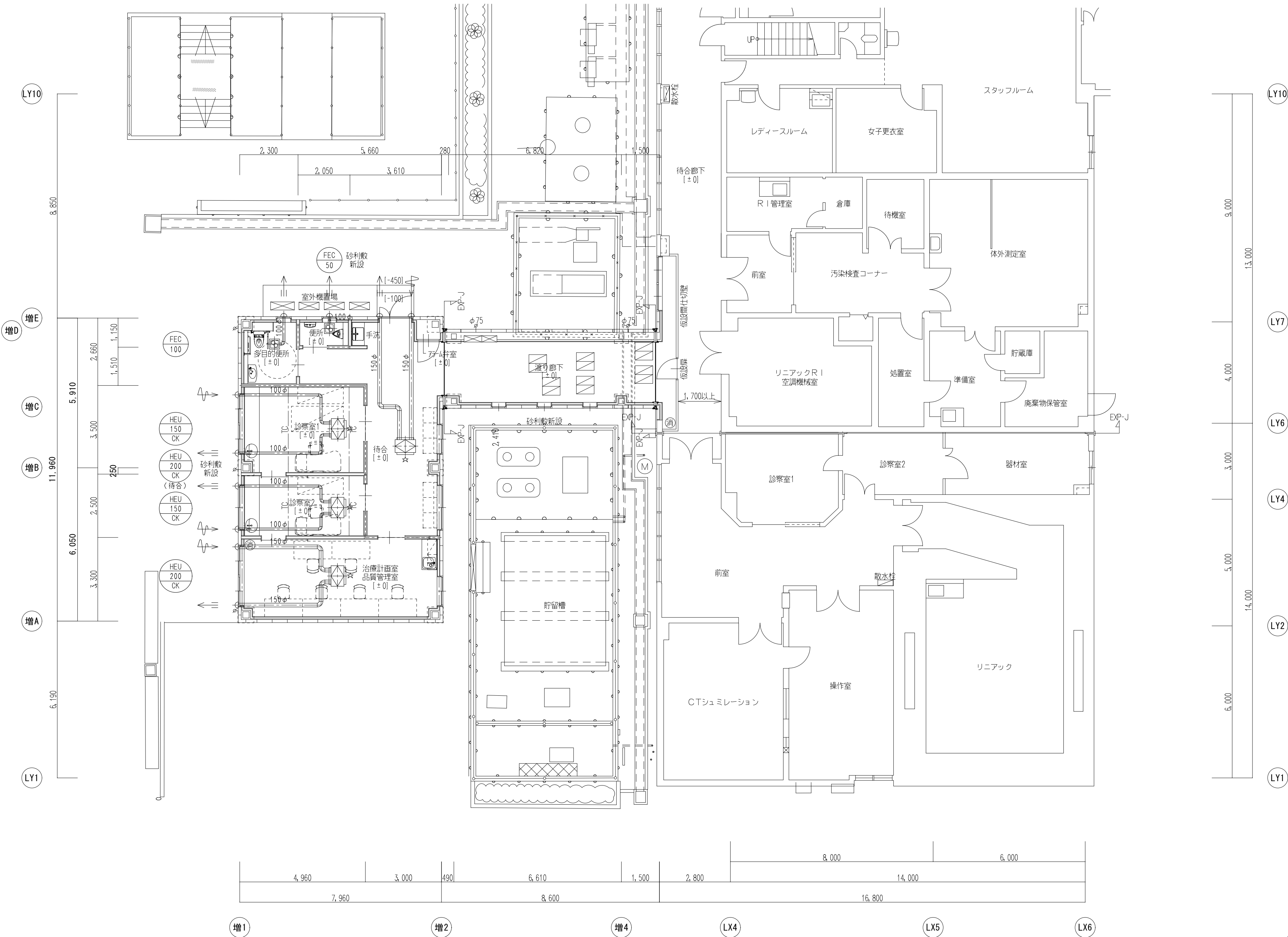
【空調と設備】

平面図 S=1/100

注記：図中の 印は防火区画貫通部を示し、耐火キット等で区画貫通処理を行うこと。

訂 正 事 項			株式会社 水 原 建 築 設 計 事 務 所 一級建築士事務所 経営長知事登録 第63号 一級建築士登録 第219285号 北 村 通 彦 根 市 長 曾 根 南 町 4 4 3 番 地 TEL 0749-22-1679	市立長浜病院放射線治療診察室等増築工事			機械設備工事		SHEET NO.  M-O-9
							空調設備		
							機器リスト、平面図（改修図）		
				DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE 令和4年6月	SCALE 1/100 (A1) 1/200 (A3)	

改修図



換気機器リスト

記 号	機 器 名	仕 様	電 源	電気容量		台数	設置場所	参考品番 【三菱電機】
				名称	入力			
FEC-50	天井埋込形換気扇	形 式 低騒音インテリア格子タイプ 風 量 50 m³/h 静 圧 60 Pa 付属品 天吊金具, SUS製深型フード (防虫網付)	1φ-100V	FAN	9.3 W	1	便所	VD-10ZC12-C
FEC-100	天井埋込形換気扇	形 式 低騒音インテリア格子タイプ 風 量 100 m³/h 静 圧 40 Pa 付属品 天吊金具, SUS製深型フード (防虫網付)	1φ-100V	FAN	15.5 W	1	多目的便所	VD-13ZC12-C
HEU-150 OK	全熱交換器	形 式 天井カセット形 風 量 150 m³/h 静 圧 80 Pa 付属品 インテリアパネル, 天吊防振金具, SUS製深型フード (防虫網付) x2, 専用スイッチ	1φ-100V	FAN	80.0 W	2	診療室1, 診療室2	LGH-N15CX2
HEU-200 OK	全熱交換器	形 式 天井カセット形 風 量 200 m³/h 静 圧 130 Pa 付属品 インテリアパネル, 天吊防振金具, SUS製深型フード (防虫網付) x2, 専用スイッチ	1φ-100V	FAN	128.0 W	2	待合 治療計画室・品質管理室	LGH-N25CX2

【換気設備】

平面図 S=1/100

注記：図中の ☆ 印の機器はシックハウス用換気機器を示し、24時間換気の表示をスイッチに明記すること。

